

## インターバンクの声（2017 年 11 月 15 日）

昨晩は ECB 主催のパネル討論会に注目が集まっていた。ドラギ ECB 総裁、イエレン FRB 議長、黒田日銀総裁、カーニー英中銀総裁の中で誰かしら相場の材料になるような発言をするのではとの期待があったが、なかなか発言も伝わって来ず、ロンドン市場で 113 円台後半までドル買いが進んだドル円もニューヨーク市場の早朝には 113 円中盤に戻ってしまった。前月比で 0.4% 上昇、コア指数も 0.4% 上昇となった 10 月の米生産者物価指数の発表にも市場の反応は弱く、ようやく伝わって来たイエレン議長の発言も金融政策の先行きに関するガイダンスに対する考え方を述べただけとあって、こちらも材料視されなかった。今一つ盛り上がり欠く 11 月の外国為替市場だが、今日 15 日は年末に決算を迎えるヘッジ・ファンドに対し、投資家が契約を一旦打ち切るか継続させるかを 45 日前までに通告する最終期限日に当たる。米国の小売売上や消費者物価指数などの発表も控え、昨日までとは違って市場が思いがけない動きを見せる可能性もあるので要注意だ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。